



聖書の言葉に耳を傾けてください

特別伝道集会

■ 1日目

10月6日(土)

場所: 富山県民会館 6階(613号室)

時間: 午後 2時~3時

場所: キリスト集会所

時間: 夜 7時半~8時半

■ 2日目

10月7日(日)

場所: 富山県民会館 6階(613号室)

時間: 午後 2時~3時

■ 語り 竹尾 潤氏 (愛知県在住)

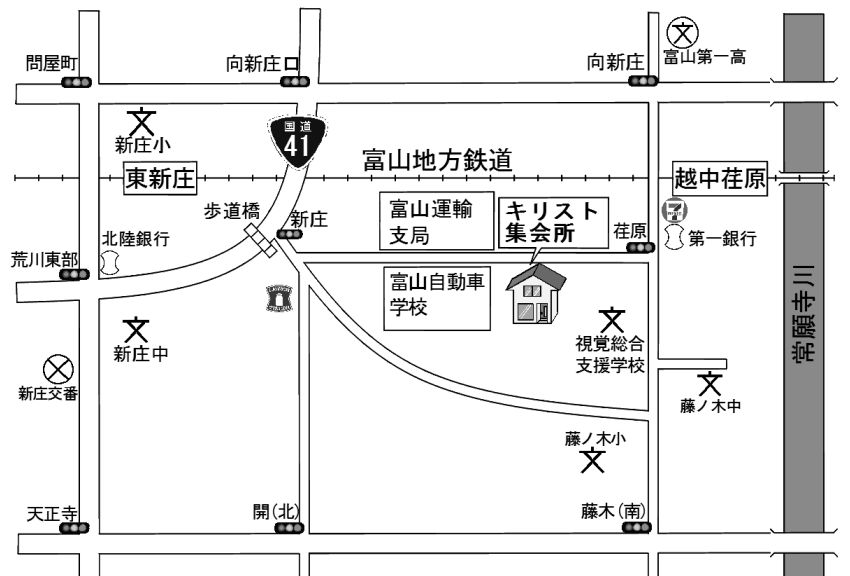
富山県民会館 案内図



〒930-0006 富山市 新総曲輪 4番18号
☎ 076-432-3111

富山駅(南口)から徒歩10分
または、地鉄バス主要路線 市役所前下車すぐ

キリスト集会所 案内図



◆当集会ではご希望の方に(新約)聖書と聖書に関する印刷物を無料でお送りしております。

郵便番号、住所、氏名を明記の上、郵送、FAX又は電子メールにてお送りください。

< 主催 >

富山キリスト集会

〒930-0992 富山市新庄町 119-1

TEL/FAX 076-492-2529 (キリスト集会所)

076-483-2535 (石崎) / 076-462-9179 (長谷)

e-mail shepherd@aaa.email.ne.jp

「聖書の福音」ホームページ

<http://www.ne.jp/asahi/bible/gospel/>

定期集会のご案内

~毎週聖書の福音をお伝えしています~

福音伝道集会

富山県民会館

毎月 第1日曜日 午後 2:30~3:30

キリスト集会所

毎週 日曜日 午後 2:00~3:00

※第1日曜以外

水曜日 午後 7:30~8:30

こども会 (未就学~小学4年生)

学生会 (小学5年生~大学生)

キリスト集会所

毎週 日曜日 午後 1:00~1:30

集会は一切無料・出入り自由です。

永遠があるということ

近年、健康に対して気を遣う人が増えていきます。街を歩いているとラウンジングしている人を見かけたり、テレビを見ていると健康番組やサプリメントのCMを目にしたりします。誰もか不自由のない健康な生活を送りたいと願っておられるでしょう。実際、日本の健康寿命は年々伸びており、2017年の統計では男性で72.14歳、女性で74.79歳と過去最高を更新したそうです。ちなみに富山県の女性は75.77歳で全国4位となっています。

さて、もし私たち人間の存在が死んで終わりであるなら、私たちは今の人生での健康や幸福を求めて生きていけばよいし、多くの方はそのように考えておられると思います。しかしどうぞ永遠があることについて今一度お考えになって頂きたいのです。それは、あなたが死んでから、永遠があるとは思わなかったと後悔されることにならないためです。聖書には「**神はまた、人の心に永遠への思いを与えられた。**」と記されています。あなたの心にも永遠の事を考える思いがあるはずです。



聖書はパラダイス（いわゆる天国）とゲヘナ（いわゆる地獄）があると述べています。人間は、死後にパラダイスに入り永遠の祝福を受けるか、ゲヘナに入り永遠の苦しみを受けるかどちらかしかありません。そして、聖書に示されているまことの神様は、すべての人が永遠の祝福を受けることを願っておられます。

どんなに今の人生で健康であっても、死後の永遠に続くあなたの未来に暗雲が立ち込めているのであればつかの間の幸せでしかありません。しかし、永遠に祝福された生活を送ることができのならどんなに幸せな事でしょうか？

どうぞ、永遠の問題を自分自身のこととしてお考えになられますように。そして集会においていただき、聖書の語る福音のことばに耳を傾けられますようお願いいたします。

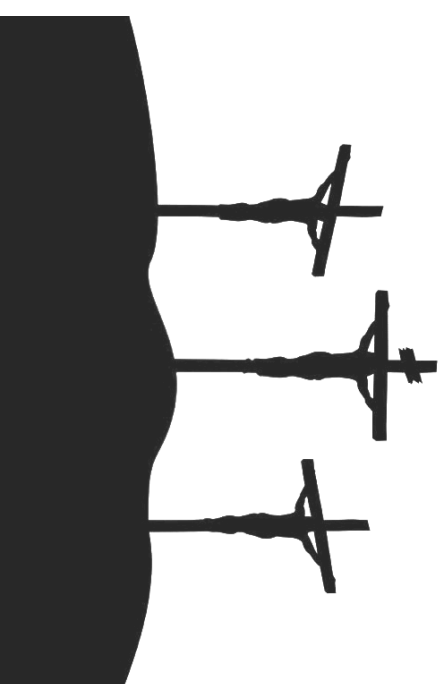
敵を愛されたイエス・キリスト

あるとき、イエス・キリストは、「自分の敵を愛し、迫害する者のために祈りなさい。」と言われました。普通、自分に悪いことをしてくる人がいたら、腹を立て、仕返しをしようとするか、せいぜい我慢してその人のことを考えないようにするくらいでしょう。また、自分に良くしてくる人のことは愛しても、自分の敵を愛そうとする人はまずいでしょう。しかし、イエス・キリストは、「**自分の敵を愛し**」なさいと言われました。

これは、神様の一方的な愛、見返りを求めない愛を表す教えです。神様を無視して罪の中に自分勝手に生きている私たち人間を、神様は嫌ったり退けたりせず、大きな愛で愛してくださいました。そして、その愛のゆえに、ご自分の大切なひとりの子であるイエス・キリストを私たちに与えてくださいました。

イエス・キリストも、冒頭の教えを口先だけで語られたのではなく、ご自分がその教えを実践されました。今からおよそ2000年前に、このお方が十字架にかけられた時、自分を十字架につけたローマ軍の兵士たちのために、「父（神）よ、彼らをお赦しください。彼らは、何をしているのか自分ではわからないのです。」と、神様に対してとりなしの祈りをされました。相手が反省して謝ってからそう祈られたのではなく、自分を苦しめている最中に祈られたのです。

そして、実は、このお方の十字架の死そのものが、「**自分の敵を愛**」する愛の現れでした。イエス・キリストが十字架で死なれたのは、ご自分の罪の結果ではなく、ご自分には何の罪もなかったのに、私たち罪の中に生きる人間を愛し、私たちのために死んでくださった、身代わりとしての死だったのです。



どうぞ、あなたにも注がれているこの神様とイエス・キリストの大きな愛を更にお知りになり、この愛に應えて生きる方とられますように。